



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月8日

上場会社名 株式会社KHC 上場取引所 東
 コード番号 1451 URL https://www.khc-ltd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 喜夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 青木 渉 TEL 078-929-8315
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	8,214	△4.4	333	△29.2	313	△28.4	200	△31.6
2020年3月期第3四半期	8,593	△10.1	471	△12.5	438	△11.5	292	△10.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 200百万円 (△31.6%) 2020年3月期第3四半期 293百万円 (△8.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	50.90	—
2020年3月期第3四半期	74.72	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	15,209	5,586	36.7
2020年3月期	14,462	5,508	38.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 5,586百万円 2020年3月期 5,508百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	24.00	44.00
2021年3月期	—	10.00	—		
2021年3月期 (予想)				15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,800	△8.5	400	△40.3	337	△46.0	216	△48.3	54.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	3,945,650株	2020年3月期	3,926,050株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	4,027株	2020年3月期	27株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	3,934,434株	2020年3月期3Q	3,918,391株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出により社会・経済活動が大きく制限され、企業収益や個人消費の低迷、雇用環境の悪化を招くなど景気は急速に悪化いたしました。5月の緊急事態宣言解除後、景気は徐々に回復に向かっているものの、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大の影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

住宅市場におきましては、11月の持家の着工戸数が前年比プラスに転じ、貸家、分譲住宅についても減少幅が縮小傾向にあるなど、新設住宅着工戸数の減少は緩やかに改善しており、また、新規受注の状況も概ね回復基調で推移したものの、先行きにつきましては、様々な景気の下振れリスクが住宅市場の市況悪化を招くことが懸念されるなど予断を許さない状況が続くことが予想されます。

このような事業環境のもと、当社グループは、連結子会社5社がそれぞれの特色を活かした独自のブランドを構築するマルチブランド戦略と成長戦略としてのエリア拡大及び顧客層の拡大により地域におけるマーケットを確立し、長期的に成長することを経営戦略として事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、前連結会計年度における新規受注の積み上げ不足による注文住宅販売の売上減少を補うため、注文住宅における工事のサイクル短縮に努める傍ら、豊富な土地在庫を生かした分譲住宅の販売強化に注力いたしました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、第1四半期連結会計期間における新規受注活動が大きく制約を受けたほか、着工遅延も発生するなど、厳しい経営環境下での事業活動を強いられたものの、5月の緊急事態宣言解除後は、停滞していた消費者の動きが徐々に活発化し、さらに住宅ローン減税の特例措置が住宅取得を後押ししたことも追い風となって受注環境が急速に改善したことを背景に、8月度・9月度の新規受注実績は前年同期比で大幅に増加いたしました。10月以降の新規受注は反動減の影響もあり、やや落ち着いた推移となりましたが、前連結会計年度からの繰り越し分を含む受注済み工事の早期着工及び着工後の工事進捗の厳格管理を徹底し、注文住宅における工事のサイクル短縮に努めることで、工事進行基準売上の増加による売上高の押し上げに注力いたしました。

また、分譲住宅の販売強化につきましては、コロナ禍におけるステイホームの増加や在宅ワークの普及に伴い、手狭な住宅からの住み替え等の需要が高まり、建売住宅が注目を集める中、完成前の建物を精巧な360度3D(三次元)CG(コンピュータグラフィックス)映像により実現することで現物さながらの住宅内覧が体験できるVR(仮想現実)を活用するなど、積極的な販売活動に注力いたしました結果、当第3四半期連結累計期間における引渡棟数が前年同期を大幅に上回る実績となり、売上高の底上げに貢献いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は8,214百万円(前年同期比4.4%減)となり、営業利益は333百万円(同29.2%減)、経常利益は313百万円(同28.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は200百万円(同31.6%減)となりました。

なお、当社グループは住宅事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載をしておりません。売上種類別の概況は、以下のとおりです。

「住宅請負」につきましては、当第3四半期連結累計期間における完成引渡棟数が187棟(前年同期は230棟)となり、売上高は4,624百万円(前年同期比15.0%減)、「分譲用土地」につきましては、当第3四半期連結累計期間における引渡区画数が184区画(前年同期は174区画)となり、売上高は2,752百万円(前年同期比5.9%増)、「分譲用建物」につきましては、当第3四半期連結累計期間における引渡棟数が45棟(前年同期は23棟)となり、売上高は751百万円(前年同期比68.6%増)、「その他」につきましては、仲介手数料の減少により売上高は85百万円(前年同期比21.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ746百万円増加し、15,209百万円となりました。

流動資産につきましては、仕掛販売用不動産が544百万円減少した一方で、現金及び預金が1,220百万円及び完成工事未収入金が197百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ766百万円増加し、12,911百万円となりました。

固定資産につきましては、減価償却に伴い有形固定資産が19百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ19百万円減少し、2,297百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ668百万円増加し、9,622百万円となりました。

流動負債につきましては、1年内返済予定の長期借入金が337百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ167百万円増加し、5,048百万円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金が542百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ501百万円増加し、4,573百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ78百万円増加し、5,586百万円となりました。

これは、配当金の支払133百万円があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益200百万円を計上したことに伴い利益剰余金が66百万円増加したこと等によるものです。この結果、自己資本比率は36.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大の影響など不確定要素もあり、2020年11月4日公表の連結業績予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,874,864	4,095,562
完成工事未収入金	780,127	977,560
未成工事支出金	7,450	11,004
販売用不動産	5,570,336	5,611,087
仕掛販売用不動産	2,469,125	1,924,863
原材料及び貯蔵品	8,423	8,937
その他	436,555	284,414
貸倒引当金	△1,317	△1,522
流動資産合計	12,145,565	12,911,907
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	980,197	964,708
土地	980,174	980,174
建設仮勘定	4,000	—
その他(純額)	15,402	15,087
有形固定資産合計	1,979,774	1,959,970
無形固定資産		
ソフトウェア	47,135	63,193
その他	226	226
無形固定資産合計	47,362	63,420
投資その他の資産		
投資有価証券	1,314	1,546
繰延税金資産	135,576	122,870
その他	195,092	189,377
貸倒引当金	△42,393	△40,071
投資その他の資産合計	289,590	273,723
固定資産合計	2,316,726	2,297,113
資産合計	14,462,292	15,209,021

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	708,512	636,908
1年内償還予定の社債	340,000	280,000
1年内返済予定の長期借入金	3,417,931	3,755,879
未払法人税等	114,015	68,929
未成工事受入金	47,314	27,520
賞与引当金	50,740	25,045
役員賞与引当金	5,000	13,545
完成工事補償引当金	16,656	14,169
その他	181,108	226,458
流動負債合計	4,881,278	5,048,456
固定負債		
社債	30,000	-
長期借入金	3,833,776	4,376,772
退職給付に係る負債	205,895	194,179
その他	3,000	3,000
固定負債合計	4,072,671	4,573,951
負債合計	8,953,949	9,622,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	459,499	465,251
資本剰余金	949,055	954,807
利益剰余金	4,099,939	4,166,550
自己株式	△18	△18
株主資本合計	5,508,475	5,586,591
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△132	22
その他の包括利益累計額合計	△132	22
純資産合計	5,508,342	5,586,614
負債純資産合計	14,462,292	15,209,021

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	8,593,710	8,214,843
売上原価	6,867,518	6,758,226
売上総利益	1,726,191	1,456,617
販売費及び一般管理費	1,254,586	1,122,825
営業利益	471,605	333,791
営業外収益		
受取利息	210	170
受取配当金	85	69
貸倒引当金戻入額	1,910	2,414
受取手数料	6,525	5,453
助成金収入	-	12,309
その他	5,974	9,886
営業外収益合計	14,706	30,304
営業外費用		
支払利息	45,098	45,942
社債利息	2,182	1,083
その他	848	3,295
営業外費用合計	48,129	50,321
経常利益	438,182	313,774
特別利益		
固定資産売却益	27	-
特別利益合計	27	-
特別損失		
固定資産除却損	672	1,191
特別損失合計	672	1,191
税金等調整前四半期純利益	437,537	312,582
法人税、住民税及び事業税	134,925	99,701
法人税等調整額	9,811	12,629
法人税等合計	144,737	112,330
四半期純利益	292,800	200,251
親会社株主に帰属する四半期純利益	292,800	200,251

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	292,800	200,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	243	155
その他の包括利益合計	243	155
四半期包括利益	293,043	200,406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	293,043	200,406

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、住宅事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。